

「モノ」グループ グループ討議報告

作成：片岡（東京農業大学）

日時 平成 16 年 9 月 28 日（火）（合宿研修 2 日目）13：30～17：00

メンバー 青木和代（東海大学）、小生方麻里（麗澤大学）、片岡真裕子（東京農業大学）、
川越智之（駒澤大学）、木村友紀（法政大学）、楠山直文（成城大学）、助川敦子
（文化女子大学）、関全葵（東京家政学院大学）、高田涼子（国立音楽大学）、
土屋貴之*（法政大学）、森田敦子（東京国際大学）
以上 11 名（*は司会者）

討議内容（要約）

研究テーマを設定するために、「モノ（リスクマネジメント）」グループを選んだ理由と図書館が抱えている問題についての身近な事例などを各々発表した。選んだ理由として、「研究内容が面白そうだ」「図書館におけるリスクマネジメントは過去に研究事例が少なく手をつけられていない分野だ」「身近なことから話を進めていける」といった理由が多く挙げられた。図書館が抱えている問題については様々な事例が発表されたが、図書館の資料、施設、人などに関わる事例に大別できた。

以上

「モノ」グループ グループ討議報告

作成：森田（東京国際大学）

日時 平成 16 年 9 月 29 日（水）（合宿研修 3 日目）9：30～12：00

メンバー 青木和代（東海大学）、小生方麻里（麗澤大学）、片岡真裕子（東京農業大学）、川越智之（駒澤大学）、木村友紀（法政大学）、楠山直文（成城大学）、助川敦子（文化女子大学）、関全葵（東京家政学院大学）、高田涼子（国立音楽大学）、土屋貴之（法政大学）、新見敏子（中央大学）、森田敦子（東京国際大学）
以上 12 名

討議内容

テーマ

前回（昨日）の話し合いを振り返ると、研究テーマを「図書館におけるリスクマネジメント（危機管理）」にすることに決まったものの、各々の身近な事例を挙げただけにとどまり、方向が定まっていない。

どういう方向へ進めていくか？ どういう切り口で研究を進めるか？

目標は「危機管理マニュアルの作成」でよいか？

出された意見

- ・ リスクマネジメント（危機管理）には「管理職の視点」と「一般職の視点」がある。
どちらの視点で研究を進めるか？
双方のベクトルを一致させることはできるか？
- ・ リスクマネジメント（危機管理）には「問題が起こった時の対応」と「問題が起こらないようにする予防策」の両者がある。
- ・ 危機管理マニュアルならば、想定される事例を網羅する必要があるのではないか。
今の時点で研究テーマを絞り込む必要はないのではないか。
とりあえず事例を挙げてプロッキングしてみた上で、標準化・一般化してみてもどうか。
（挙げられた事例：図書館内での事故、ハッキングや掲示板あらしなど図書館のコンピュータを使った犯罪、書庫の狭隘問題など）

次回までにやっておくこと（確認）

- ・ そもそも、「リスクマネジメント（危機管理）」の定義の統一がとれていないので、各自で危機管理について文献を読んで調べておく。

代表者選出：土屋貴之（法政大学）

以上